

【初回】mFOLFOX6+ピロイ(800mg/m²)療法

【外科】263【胃癌】

(第 コース目)

*網かけ部分は必須記入事項

診療科:	病棟:
医師名:	印

身長:	cm	体重:	kg
体表面積:	m ²	Cr:	mg/dL

■レジメン 下記が1コースの投与スケジュール : 2週ごとを1コースとする

Day	1	2	8	9	~14
施行日	/	/	/	/	
ピロイ	↓	休薬	休薬	休薬	
エルプラット	↓	休薬	休薬	休薬	
アイソボリン	↓	休薬	休薬	休薬	
5-FU	↓	↓	休薬	休薬	

■投与順序 ※マークは同タイミング投与薬あり

滴下順	
①	アロカリス注235mg 1V パロノセトン注0.75mg 1V デキサート注1.65mg 2A デキサート注6.6mg 1V ポラミン注5mg 1A 生食 100mL 30分
②	↓ 生食 50mL 10分
③	●ピロイ注【 】mg 注射用水 mL 生食 mL (total 600mL) 投与速度は「■注意事項」参照
④	↓ 生食 50mL 10分
※⑤	●エルプラット注【 】mg 5%ブドウ糖 250mL 2時間
※⑤	同時に 側管より ●アイソボリン注【 】mg 5%ブドウ糖 250mL 2時間
⑥	●①5-FU注【 】mg 生食 50mL 3分
⑦	↓ 生食 50mL 10分フラッシュ
⑧	●②5-FU注【 】mg 5%ブドウ糖 120mL 約46時間baxtar infusion pumpで

■投与量 ※投与量の参考

標準投与量		
ピロイ(初回)	800 mg/m ²	mg/Body
ピロイ(2回目以降)	400 mg/m ²	mg/Body
エルプラット注	85 mg/m ²	mg/Body
アイソボリン注	200 mg/m ²	mg/Body
①5-FU注	400 mg/m ²	mg/Body
②5-FU注	2400 mg/m ²	mg/Body

■注意・確認事項

- 中心静脈から投与すること。
- 点滴セットはフィルター付き輸液ルートを使用すること。
- エルプラットは塩化物・塩基性溶液との混和は不可。
- ピロイは調製後6時間以内に投与終了すること。

《ピロイの投与速度》

- 患者の忍容性が良好な場合には、30分後・60分後以降徐々に投与速度を上げることができる。

50mL/hrで開始 ⇒ 30分後 100mL/hr ⇒ 60分後 200mL/hrへ

- Grade2以上の悪心・嘔吐が発現した場合は30分間投与を中断し、回復後、流速を半分の速度に落として再開できる。

○デカドロン錠8mg(内服オーダ)はday2,3,4に投与する。

○糖尿病でないことを確認し、必要に応じてジプレキサ錠5mg(内服オーダ)をday1,2,3,4に投与する。

入力 薬剤師	看護師	看護師